

## 第1回 向陵中学校改築検討協議会議事概要

### 1 日時

令和3年(2021年)11月17日(水)13:30~14:30

### 2 場所

向陵中学校 3階会議室

### 3 出席者

別紙のとおり

### 4 協議会次第

#### (1) 開会あいさつ(前田学校施設課長)

子どもたちの学びの場、地域の施設としてもより良いものになるよう、学校に関わりの深い方々にご意見等協力をいただきたく、改築検討協議会を開かせていただいている旨の開会の挨拶。

#### (2) 改築検討委員会・協議会の趣旨説明及び基本設計のスケジュールについて

(資料「改築検討委員会・協議会体系図」、「基本設計 想定スケジュール」)

(伊藤施設整備係長)

##### ア 改築検討委員会について

改築検討委員会とは、改築の基本設計を行う際に、学校に立ち上げていただいている組織であることを説明。

##### イ 基本設計のスケジュールについて

資料をもとに、改築検討協議会及び住民説明会のスケジュールを説明。

#### (3) 近年の整備事例及び新校舎の配置計画案について(施設整備係 吉岡)

(資料「向陵中学校改築 配置計画案」)

##### ア 近年の整備事例

写真をもとに、近年改築した学校において整備しているワークスペース、多目的室、バリアフリー対策、避難所としての設備について説明。

##### イ 事業の概要

改築校舎の規模、事業スケジュールを説明。

##### ウ 配置計画案について

資料をもとに、新校舎の配置計画案について説明。

【①案】既存校舎がある東側に新校舎を配置し、西側にグラウンドを配置する

案（部分仮設校舎あり）、【②案】校舎を北側に配置し、南側にグラウンドを配置する案（仮設校舎なし）の2案において、安全性、学習環境、周辺への影響、工事の手順、工事スケジュール等を説明。

(4) 質疑応答

質 疑	回 答
<p>①案前提での提案なのか、今回の議論によっては②案もあり得る想定なのか、今回の協議会の主旨を伺いたい。</p>	<p>2案を比較した総合評価としては、①案の方が優れていると考えているが、皆さんの意見を踏まえ、最終的な判断をしていきたい。</p>
<p>向陵中学校が飽和してきたため、通学区区域を変更して振り分けているのではないか。</p>	<p>新たに学校を開校する場合には、通学区区域の変更を行っているが、生徒数が増えたからといって通学区区域を変更してはいない。</p>
<p>1,200名程度は収容できる大きさが必要だと考えるが、新校舎は何名の生徒を収容できる想定か。</p>	<p>将来的な生徒数は1,000名超を見込んでいる。校舎改築は、工事着手年度の学級数に応じた補助資格面積の範囲内で行っており、新校舎については29学級収容できる。</p>
<p>遠友塾に配慮した計画で、EVは2基設置、給食配膳室も大きめなものを整備できると良いと考える。また、将来的に生徒数が減った際に、地域で利用可能なシャワー室もあれば望ましく思う。</p>	<p>EVについては、1基整備を基本としており、限られた面積での整備となるため、EVの2基整備やシャワー室の設置等を行うには、他の何かを削る必要が生じる。 また、標準で整備する内容は予め想定しているため、その範囲内での整備を行いたいと考えている。</p>
<p>体育館の面積は何㎡か。既存のものからどの程度大きくなるか。体育の授業や入学式、卒業式等が窮屈に行われているので、解消を希望する。</p>	<p>1,611㎡で、既存の体育館の約1.5倍の大きさ。 新しい屋内運動場になれば、狭さの問題は解消できるものとする。</p>
<p>①案では仮設校舎を作るが、作らない案の場合にそのお金を流用し、施設の充実に充てられるものなのか。</p>	<p>流用はできず、計画案の中で必要なものに対する予算となる。</p>
<p>①案について、仮設校舎期間が5年間あるように見えるが、仮設校舎でしか学べない生徒もいるのか。</p>	<p>今回は部分仮設校舎の想定であり、普通教室は現校舎を使う想定となる。</p>

②案の場合、グラウンドが使用できない想定だが、その期間中の体育や部活動はどうなるのか。	体育については、体育館でできる活動となり、部活動については、近隣の小学校のグラウンドを借りる等、可能な範囲での活動となる。
仮設校舎における冬期間の寒さが不安だが大丈夫か。	他校実績でも冬期間の使用は支障なく行われており、暖房面については問題ないと考える。
中庭があるが、設けないといけないという決まりはあるのか。	採光や換気のために、中庭を設けることが望ましい。
新校舎に和室は整備される予定か。	学校と協議の上、今後検討していく。
教室にコートを収納できるようなスペースは設けられるか。多くの子が35L～40L程度のリュックで登校しており、小学校のランドセル置場の2～3倍の収納スペースが必要だと考える。	教室の後ろ側に雨具かけを整備するが、大きさに関してはご意見として頂戴する。
エアコンは設置されるか。	検討を行っているところだが、現時点で設置をする想定とはなっていない。
向陵中学校区のマンション建設は続いており、ここ数年の傾向からも、生徒数は減らず、より大きな校舎が必要ではないか。	将来の生徒数を推計する際には、0～5歳の幼児数や、過去の実績から想定される転出入者等を算出し、生徒数を推計している。 教育委員会としても、この地区で生徒数が伸びていることは承知しており、推計する生徒数に対応できる校舎としたい。
避難所として地域住民を収容できる大きさとなっているのか。	学校は避難所に指定されているが、あくまで学校施設として補助を受け、整備を行うもの。 本校は体育館や格技場をはじめ、避難場所として活用できるスペースは多くする予定。
配置計画案等についての意見	
色々とかねてほしい要望はあるが、優先的に整備しなければならない所から検討していった結果、このような計画になったのは理解できる。仮設校舎を建てるため、コスト的なデメリットはあるが、①案は無駄な場所が少なく、現在の通	

学動線とあまり変わらない点が良い。
②案の場合、北側の近隣住宅への影響が想定される。①案は仮設校舎のための費用はかかるが、仮に増築を行うこととなった場合、こちらの配置の方が整備しやすいと思うので、①案の方が良いと考える。
改築工事にあたっては、事故等のトラブルがないよう行ってもらいたい。配置案については、仔細検討がなされての判断だと思うので、①案で良いと考える。新校舎は長きにわたり使うことになると思うので、先々まで想定した改築案としてもらいたい。
グラウンドが使えない場合、体育の授業や部活動の制限が大きく、全体的にみても①案の方が良いと考える。
①案では仮設校舎の寒さの不安や、工期が長くなるというデメリットはあるが、近隣環境や生徒動線等を踏まえると、①案の方が現実的だと思う。
新しい校舎配置について、子どもの意見を聞いたところ、今までと通学動線が変わらない方が良いという話があった。自分自身としても、グラウンドが市民の目からさらされず、防犯の観点からも①案が良いと考える。
親目線としては、工事期間中の事故がないように願っている。安全第一で工事を押し進めてもらいたい。

#### 【結論】

配置計画については、①案をベースとして設計し、次回協議会で教室等の配置を検討することとする。

#### (5) 改築検討委員会委員長あいさつ(中村向陵中学校長)

本日はご多忙の所お集まりいただき、ありがとうございました。かねてから、体育館の狭さに悩まされており、入学式や卒業式で保護者の方が全員入れないことを心苦しく思っておりましたが、今回の改築で校舎も体育館も大きくなります。

学校として改築に望むコンセプトとしては、安全で多様な教育活動を可能とし、バリアフリーで誰にとってもつかいやすいような環境であること。また、地域の防災拠点として、地域の皆様の安全を守り、将来的には地域のコミュニティとして再利用できるような、地域から愛され、誇りをもってもらえるような校舎となることです。学校として閉じた環境とせず、地域の方にも使いやすいような空間となれば良いと考えております。

ここで学んで良かった、ここで学ばせて良かった、ここで働けて良かった、と思われるような校舎を目指し、今後とも皆様のお力をお借りしたいと思っております。

本日はどうもありがとうございました。

以上

# 向陵中学校改築検討協議会 名簿

	所属	役職・係等	氏名	第1回
検討委員会メンバー 17名	町内会・評議員関係	円山町内会連合会会長・学校評議員	三上 恒(みかみ ひさし)	○
		学校評議員	久木 利弘(ひさき としひろ)	○
		学校評議員	玉木 康雄(たまき やすお)	○
		円山第15町内会長	中村 睦男(なかむら むつお)	×
		宮の森東三町内会交通安全部長	清水 順一(しみず じゅんいち)	○
	PTA関係	PTA会長	南出 保(みなみで たもつ)	○
		PTA副会長	君島 綾(きみじま あや)	○
		PTA副会長	佐々木 由希子(ささき ゆきこ)	○
		PTA副会長	藤原 希(ふじわら のぞみ)	○
		PTA総務	里井 恵子(さと いけいこ)	○
		PTA総務	瀧澤 真理子(たきざわ まりこ)	○
		PTA総務	巽 亜矢子(たつみ あやこ)	○
		PTA会計	畑中 香里(はたなか かおり)	×
	学校関係	校長	中村 邦彦(なかむら くにひこ)	○
		教頭	保格 諭(ほかく さとし)	○
		事務職員	後藤 敦(ごとう あつし)	○
		事務職員	小中出 亘(こなかで わたる)	○
札幌市関係 9名	教育委員会生涯学習部 学校施設課	学校施設課長	前田 憲一(まえだ けんいち)	○
		計画係	石垣 敬寛(いしがき たかひろ)	○
		施設整備係長	伊藤 哲夫(いとう てつお)	○
		施設整備係	吉岡 佑樹(よしおか ゆうき)	○
	都市局建築部 建築工事課	工事三係長	山崎 大史(やまざき たいし)	○
		工事三係	瀬川 大樹(せがわ たいき)	○
	株式会社 大建設計	副所長	北原 和俊(きたはら かずとし)	×
		設計室 室長	松本 渉(まつもと わたる)	○
		設計室	小澤 光理(こざわ ひかり)	○